

政策	4章 政策3	地域のインフラを整える	
主管課	水道部総務課	関係課	建設課、政策推進課、市民生活環境課、情報政策課、水道部工務課、農村整備課

1. 政策の方針・指標・関係者の意見等

(1) 政策の対象と方針

対象	政策の方針
市民	交通環境では、国道や県道の整備状況にあわせて市道の整備を行い、歩行者や自転車の安全とユニバーサルデザインに配慮しつつ、効果的な道路ネットワークを構築します。 また、今後増加する交通弱者や観光客利用も視野に入れ、デマンドバス等の本格運行など、公共交通網の強化に取り組みます。情報通信ネットワークの充実も不可欠です。ひと・地域・情報のつながりを支える都市インフラの一環として整備を進めていきます。 上下水道では施設の充実や適切な維持管理に引き続き取り組むほか、緊急時への対応や事業の健全化および広域化・共同化の検討を進めていきます。

(2) 政策の基礎的データとなる指標

基礎的指標			単位		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	人口		人	見込値								63, 241
				実績値	61, 646	62, 099	62, 270	62, 185	62, 590	62, 406	62, 255	
②				見込値								
				実績値								
③				見込値								
				実績値								

(3) 総合計画等の指標の目標値・見込値・実績値及び施策コスト

							前期基本計画期間					
指標区分		指標	単位		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度 (前期目標値)
A	総合計画	道路の改良率	%	目標値					82.9	83.5	84.0	84.0
				見込値					82.9	83.5	83.9	84.0
				実績値	82.8	82.8	82.9	82.9	82.9	82.9	82.8	
B	総合計画	上水道有収率	%	目標値					94.5	95.0	95.5	96.0
				見込値					94.0	95.0	95.6	96.0
				実績値	92.9	94.9	94.4	94.0	94.4	95.6		
C	総合計画	下水道人口普及率	%	目標値					70.6	71.6	72.5	73.5
				見込値					69.6	69.6	69.6	69.6
				実績値	68.7	68.4	68.3	69.6	69.3	69.1		
D	参考	補助対象市内線と市営バス運行の利用者数	人	目標値					35, 700	36, 000	36, 300	36, 600
				見込値					35, 700	39, 550	44, 947	44, 947
				実績値	-	29, 491	28, 331	30, 437	39, 159	42, 838		
E				目標値								
				見込値								
				実績値								
F				目標値								
				見込値								
				実績値								
G				目標値								
				見込値								
				実績値								
H				目標値								
				見込値								
				実績値								
施策コスト	施策に係る事務事業の合計額	事業費	千円					987, 454	1, 205, 103	720, 001	0	0
		国・県支出金	千円					196, 812	144, 164	47, 325		
		地方債	千円					50, 852	62, 253	89, 741		
		その他	千円					8, 200	2, 574	10, 224		
		一般財源	千円					731, 590	996, 112	572, 711		

※令和4年度以前の数値については、把握できるもののみ入力。

(4) 総合計画等の指標の設定理由及び目標値・見込値の考え方

A	総合計画	道路の改良率
	設定理由	道路網の整備状況について、市道の改良率(車道幅員が5. 5m以上に改良された道路延長の、道路全延長に対する比率)から把握する。(建設課資料)
	目標値	過去12年間の実績が2. 1%増であることから、同じ比率(年間0.175%)の向上を目指す。
	見込値	令和7年度に3路線の完了を予定していることから、これに伴う向上を見込む。
B	総合計画	上水道有収率
	設定理由	水道水の安定供給の観点から、有収率(総配水量に対する、料金収入となる水量の割合)を把握する。(水道部資料)
	目標値	毎年度0. 5%の向上を目指す。
	見込値	引き続き配水ブロック及び配水系統等の見直しを図り、現状の維持管理を推進することでさらなる率向上が見込まれる。
C	総合計画	下水道人口普及率
	設定理由	下水道整備の観点から、下水道人口普及率(人口に占める下水道管が整備された地区に住む人口の割合)を把握する。(糸満市下水道事業経営戦略)
	目標値	糸満市下水道事業経営戦略目標値に基づき、年間0.98%の増加を目指す。
	見込値	浄化センターの増改築等を早急に進める必要があるなど、污水管整備については遅れが生じている状況となっている。
D	参考	補助対象市内線と市営バス運行の利用者数
	設定理由	効率的で持続可能な公共交通の整備の観点から、補助対象市内線と市営バス運行の利用者数(南部循環線、国吉線、いとちゃんminiの利用者数)を把握する。(糸満市地域公共交通計画※令和6年度策定予定)
	目標値	毎年度1%の向上を目指す。
	見込値	令和6・7年度の見込値の修正について、いとちゃんminiは利用者数が頭打ちとなっていることから、令和4・5年度の実績値を参考に約27,000人で算定する。南部循環線については、令和5年度の実績値に15%の伸び率(令和4年度から令和5年度の伸び率32%の半分が15%)17,630人で算定し、計44,630人と見込む。
E		
	設定理由	
	目標値	
	見込値	
F		
	設定理由	
	目標値	
	見込値	
G		
	設定理由	
	目標値	
	見込値	
H		
	設定理由	
	目標値	
	見込値	

(5) 環境変化（個別計画策定状況、近年・今後の外部環境の変化等）

- ・人件費や物価高などで収支率が下がったことから、赤字負担額やいとちゃんmini委託料が増大している。
- ・沖縄県企業局が、水道料金を令和6年10月から令和8年度まで段階的におよそ3割値上げする。
- ・字真栄里地区や真栄里土地区画整理事業等との関係から、令和6年度に事業計画及び都市計画決定・地域再生計画の変更を行う。

(6) 関係者の意見・要望

- ・市民から、いとちゃんminiが利用しづらいといった理由等から予約のキャンセル数が増加している。
- ・市民から、南部循環線（107・108）は平日5便で時間帯が合わず利用しづらいとの意見がある。
- ・住民や議会から、下水道計画区域内の未整備箇所に係る早期整備について要望がある。

2. 政策の実績評価

(1) 令和7年度（前期目標値）の指標の達成見込み

指標A	総合計画	【道路の改良率】						
<input checked="" type="checkbox"/>	現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/>	新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/>	現在の想定では目標達成が困難	
理由	・現時点で完了している路線がないことから、近年は改良率が向上していない。 ・令和7年度は、現在工事中の3路線が完了予定である。							
指標B	総合計画	【上水道有収率】						
<input checked="" type="checkbox"/>	現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/>	新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/>	現在の想定では目標達成が困難	
理由	令和5年度は95.6％と前年度から向上したが、給配水施設等の老朽化の改善を進めているものの、新たな漏水の発生が懸念される。今後は、配水管理を徹底し、漏水等の早期発見・防止に取り組み、有収率向上を目指す。							
指標C	総合計画	【下水道人口普及率】						
<input type="checkbox"/>	現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/>	新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input checked="" type="checkbox"/>	現在の想定では目標達成が困難	
理由	・汚水管の整備が進まない状況において、令和5年度は「市内人口」と「下水道整備地区人口」の変動により普及率が減少した。 ・浄化センターの増改築や雨水函渠の新設・改築を優先的に進める必要があることから、財源確保が難しく汚水管の延伸が遅れている状況にある。							
指標D	参考	【補助対象市内線と市営バス運行の利用者数】						
<input checked="" type="checkbox"/>	現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/>	新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/>	現在の想定では目標達成が困難	
理由	いとちゃんminiの利用者数が頭打ちとなっていることから、令和4・5年度の実績値を参考に約27,000人で算定する。南部循環線は、令和5年度の実績値に15％の伸び率（令和4年度から令和5年度の伸び率32％の半分が15％）を掛けた17,630人で算定し、計44,630人と見込む。							
指標E		【						
<input type="checkbox"/>	現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/>	新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/>	現在の想定では目標達成が困難	
理由								
指標F		【						
<input type="checkbox"/>	現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/>	新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/>	現在の想定では目標達成が困難	
理由								
指標G		【						
<input type="checkbox"/>	現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/>	新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/>	現在の想定では目標達成が困難	
理由								
指標H		【						
<input type="checkbox"/>	現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/>	新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/>	現在の想定では目標達成が困難	
理由								
指標の数	4指標	うち現在の計画、取り組みにより目標達成見込み	3指標 (75.0%)	うち新たな取り組み等により目標達成の可能性あり	0指標 (0.0%)	うち現在の想定では目標達成が困難	1指標 (25.0%)	

(2) 前年度比較（令和4年度の市の取り組み・成果との比較）

評価	成果はほとんど変わらない(横ばい状態)	【5段階評価】 かなり向上～どちらかと言えば向上～ほとんど変わらない～どちらかと言えば低下～かなり低下
理由	・補助対象市内線と市営バス運行の利用者数は増加した。 ・「上水道有収率」の指標結果は向上したが、下水道人口普及率は下水道整備地区人口の変動により普及率が減少した。	

(3) 他自治体との比較（令和5年度の実績の県内他市等との状況比較）

評価	他自治体と比べてほぼ同水準である	【5段階評価】 高い水準～どちらかと言えば高い水準～ほぼ同水準～どちらかと言えば低い水準～低い水準	比較対象	県内11市
理由	・道路網は他市と比較して整備が進み、どちらかと言えば高い水準にあると考える。 ・上水道有収率はどちらかと言えば高い水準となっているが、下水道人口普及率等はほぼ同水準にある。			

3. 政策を推進する上での現状と課題及び今後の取組方針

(1) 令和6年度の現状（令和5年度の実績を踏まえた政策（施策の展開）の取り組み）

- ・街路の拡幅整備に取り組んでいる。
- ・サービスを低下させず、効率的な公共交通の持続に向け、住民や有識者・国・県・関係団体・交通事業者等で構成された協議会において、新たな地域公共交通計画を策定している。
- ・日常やイベント参加時等における公共交通の利用促進に向けて、関係部署と連携しホームページ等で周知を行っている。
- ・真栄里地区の商業・ターミナルゾーンに係る公募要領をホームページへ掲載し、提案を求める。
- ・上水道については、メイン管を優先して耐震化を進めるため、送水管布設替整備に取り組んでいる。
- ・下水道については、浄化センターの新設・増改築や雨水幹線整備を優先的に行う必要があり、この整備に取り組んでいる。

(2) 令和6年度の課題（政策（施策の展開）を推進する上での課題）

- ・道路整備において、一部の地権者の協力が得られていない状況にある。
- ・道路整備に係る補助金が年々減額されており、進捗率が向上しない。
- ・空港まで乗り換えなしの路線バスも運行しているが、その一部は事業者が異なることから他の路線バスとの結節点が少なく、乗継利便性の向上を図る取り組みが必要となっている。
- ・上水道については、送水管や配水池及びポンプ場の構築を進めなければならない状況だが、配水管及び配水支管の布設替えが遅れている。
- ・下水道については、優先的な整備が必要となる他事業への予算措置の関係から、汚水管整備に必要な財源の確保が困難な状況にある。
- ・いとちゃんminiの利用登録者の増加に伴い、予約を断る件数が増加している。
- ・いとちゃんminiの未乗車や急遽のキャンセルが増加している。
- ・物価高騰や人件費の増加に伴い、公共交通赤字補填額が増加している。

(3) 令和7年度を取組方針（令和6年度の現状・課題を踏まえ、令和7年度に優先的に取り組む予定のもの）

- ・早期完了（整備中の5路線の供用開始）に向け用地交渉等に取り組む。
- ・道路交通ネットワークの充実に向け、引き続き道路の整備に取り組むとともに、補助金の増額に向けて取り組む。また、引き続き適切な維持管理を行う。
- ・公共交通の利用促進に向けて、イベントでのチラシ配布やホームページでのPR等（南部循環線運行地域の自治会等への周知）を図る。
- ・いとちゃんminiについて、まとめ予約日数の見直し（1週間分を3日分までに減らすベビュユーザー対応）を行う他、未乗車及び急遽のキャンセル件数の減少に向けて取り組む。
- ・いとちゃんmini国吉線の利用者増加に向けて、学校や関連自治会へ周知強化及び実態調査を行う。
- ・商業ゾーン用地売却の公募条件に交通結節点機能の整備を必須とし優先交渉権者を決定し、基本協定の締結を行う。
- ・これまでの事業に継続して取り組むとともに、事業数の増加に係る補助金の増額確保等に取り組む。特に、下水道汚水管整備について、沖縄振興予算や地方創生予算を活用し、真栄里地区及び真栄里土地区画整理事業地区の整備に取り組む。